事業主側・江波戸社長・戸塚専務
勞働者側・酒井高一郎・外十二名
ト會見折衝シ別記ノ通協定成立解決セリ
右及申（通）報候也

別記

解決條件

一、大船（一三隻）金三十五円（生活保証額）
但各船夫稼高ガ金額ニ達セザル時ハ其不足額ヲ貸与
二、小船（八隻）金三十弐円（右ニ仝シ）
但シ右保証ニ仝シ（有家族）
三、小船（五隻）（獨身船夫）定額ナシ
但シ船夫一ケ月ノ稼高ニテ生活シ得サル場合ニ限リ会社ニ於テ実情考慮ノ上生計ノ保証スルコト

以上

5.11.8
1089

一一・一一二・

勞秘第三九七五號
昭和五年十一月六日

警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿
社會局長官殿
各廳府縣長官殿
（北海道 京都 大阪 神奈川 兵庫 愛知 靜岡 福岡）

芝浦運輸株式會社勞働爭議ニ關スル件（發生）

要旨 (1)十月十二日前借ヲ為シタル船夫二名ヲ解雇シタルニ十一月一日京濱船夫組合ノ後援ヲ得テ復職ヲ歎願ス
(2)引續キ勞資折衝中

標記會社ニ勞働爭議發生シタルガ状況左記ノ通

記

1.